

令和5年度 学校評価書（自己評価・学校関係者評価）【定時制・通信制】

学校教育目標	1 自己の個性を伸ばし、意欲的に学び続ける人間の育成	2 自主自立の精神を持ち、社会の発展に寄与する人間の育成	3 心身ともに健康で、心豊かなたくましい人間の育成
スクール・ポリシー	定時制 【育成を目指す資質・能力に関する方針】〈このような力を育てます〉 （１）多様な生徒の多様な学習ニーズに対応しながら、社会的・職業的自立への意志を持って地域の未来をひらく「人財」を育てます。 （２）学習活動・特別活動を通して、「霞城８Ｃ（エイト・シー）」を身に付け、社会的に自立できる力を育成します。「霞城８Ｃ」とは、自己肯定力、傾聴力、読解力、思考力、表現力、行動力、自己管理能力、自立力の８つの資質・能力です。 【教育課程の編成及び実施に関する方針】〈このような教育活動を行います〉 （１）「午前（Ⅰ部）、午後（Ⅱ部）、夜間（Ⅲ部）」の時間帯から自分に合った学びのスタイルを選択できるようにするとともに、所属以外の部での単位修得により３年でも卒業可能なカリキュラムを提供します。 （２）自分の興味・関心や進路希望に応じて選べるように、専門教科の商業科・家庭科の科目なども含めた多様な選択科目を設定します。 （３）「霞城８Ｃ」を身に付けるため、入学式や卒業式などの学校行事や、クラスマッチ、霞城祭（文化祭）などの生徒会活動、ホームルーム活動などの特別活動を実施します。 【入学者の受け入れに関する方針】〈このような生徒を待っています〉 （１）本校定時制で学びたいという強い意志を持ち、「進路目標実現」という明確な意識を持って努力できる生徒を募集します。 （２）授業と特別活動において、他の人と共に集団で学び、活動できる生徒を募集します。 （３）お互いの個性を理解し、違いを認め合い、成長し合える生徒を募集します。		
	通信制 【育成を目指す資質・能力に関する方針】〈このような力を育てます〉 （１）多様な生徒の多様な学習ニーズに対応しながら、社会的・職業的自立への意志を持って地域の未来をひらく「人財」を育てます。 （２）学習活動・特別活動を通して、「霞城８Ｃ（エイト・シー）」を身に付け、社会的に自立できる力を育成します。「霞城８Ｃ」とは、自己肯定力、傾聴力、読解力、思考力、表現力、行動力、自己管理能力、自立力の８つの資質・能力です。 【教育課程の編成及び実施に関する方針】〈このような教育活動を行います〉 （１）「普通科、服飾科」から自分に合った学びのスタイルを選択できるようにするとともに、「学習報告書」を中心に自学自習で学びを進め、添削指導や面接指導を受け、試験に合格することで単位を認定します。 （２）自分の興味・関心や進路希望に応じて選べるように、専門教科の商業科・家庭科の科目なども含めた多様な選択科目を設定し、３年でも卒業可能なカリキュラムを提供します。 （３）「霞城８Ｃ」を身に付けるため、入学式や卒業式などの学校行事や、通教祭（文化祭）などの生徒会活動、ホームルーム活動などの特別活動を実施します。 【入学者の受け入れに関する方針】〈このような生徒を待っています〉 （１）本校通信制で学びたいという強い意志を持ち、「高等学校卒業」、「進路目標実現」という明確な意識を持って努力できる生徒を募集します。 （２）基礎学力や時間管理の仕方を身に付け、自学自習ができる生徒を募集します。 （３）面接指導や特別活動に参加でき、お互いの個性を理解し、違いを認め合い、成長し合える生徒を募集します。		

評価基準 A：達成できた B：ほぼ達成できた C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

令和5年度 重点目標	評価項目	自己 評価	成果（○）と課題（●）	次年度への改善点	学校 関係者 評価	学校関係者の 意見等
1 個に応じた キャリア教育 の推進	① 個性を伸ばし自己を高める意識 の涵養を図り、学習意欲の向上 と「霞城8C」の育成を目指す ② 「キャリアパスポート」「進路ハ ンドブック」「進路の手引き」等 の有効活用 ③ 外部人材・関係機関との連携	B	<定時制> ○外部機関と連携を密にしつつ、個々にあった適切 な指導を展開できた。 ●進路未確定者が少数ながら出ている。	・進路意識を高めるべく、低年次の段階 から意識の醸成をはかる。	B	・卒業後について考 えられる経験や情 報との接点づくり をこれからも期待 しています。
			<通信制> ○生徒それぞれの状況に応じた個別支援。 ●「キャリアパスポート」の活用。	・「キャリアパスポート」の効果的な活 用と外部機関との円滑な連携。		
2 学習指導の 充実による学 力の育成	① 「個別最適な学び」の推進 ② 「主体的・対話的で深い学び」 に関する研究・研修 ③ 総合的な探究の時間等の充実を 進め、「協働的な学び」を推進す る	B	<定時制> ○一人一台端末を活用した授業実践が定着して きた。「総合的な探究の時間」においては、対話力 をつける試みを実施した。 ●基礎学力定着のための授業研究を更に行う。	・一人一台端末につき、基礎学力の定 着を意識しつつ一層良い活用策を 工夫する。「総合的な探究の時間」 においても有効に活用できてい る。	B	・「総合的な探究の 時間」の内容の見 直しを常に行って ほしい。
			<通信制> ○生徒それぞれの学習進度に応じた「個別最適な学 び」の実践。 ●学習報告書の効果的な支援と指導方法の研究。	・通信制における「協働的な学び」に ついての研究。		
3 生徒指導の 充実による生 徒の社会力の 向上	① 教師と生徒、生徒同士のふれあ いを大切にし、ライフスキル・ ソーシャルスキルの向上と自己 肯定感・自己有用感を高める ② 自主・自律の生活態度と公共心 の育成 ③ いじめ防止	B	<定時制> ○「霞城8C」について各部集会で説明し、学校生活 でつけるべき力を自覚させた。それを踏まえ、多 くの生徒は充実した学校生活を送っている。 ●自律心を育てると同時に、公共心の更なる育成を めざす。	・霞城8Cを日常生活において一層意識 できるよう、早い時期に全生徒に説明 する。 ・生徒会活動を通じ、他を思いやり共存 しようとする姿勢を養う。	B	・今後とも、スキ ルトレーニング を充実させてい ってほしい。
			<通信制> ○警察の方を講師とした「生活安全講座」を2回実 施し、生徒の社会力の向上を図った。いじめ認知 件数は0件。 ●特別活動等での人との係わりを通して、自己有用 感を高める。	・様々な場面において、スキルトレー ニングを実施。		

4 心身の健康増進と安心・安全教育の充実	① 自己管理意識の向上 ② 本校立地に応じた訓練・研修 ③ 危機管理マニュアルの点検	B	<定時制> ○予定された訓練は実施した。生徒の防災意識は高まった。 ●危機管理マニュアルについて定期的な点検活動ができなかった。	・本校立地条件を意識し、防災に関わる対応を一層充実していく。	B	・より多くの生徒がしっかりと自己管理できるよう、SCやSSWなど外部人材との協力にも期待したい。
			<通信制> ○不審者対策研修会および防災訓練を計画通り実施し、防災意識を高めることができた。 ●生徒の自己管理能力を育成し学校生活の充実につなげる。	・危機管理マニュアルおよびチャートの確認を行い、有事に備える。		
5 特別支援教育の推進	① 教育活動のユニバーサルデザイン等の推進 ② 合理的配慮・支援の理解と実践 ③ 個別の支援計画の作成と実践	A	<定時制> ○日常の授業活動や通級指導を通じ、個々の生徒への配慮は適切に行われた。 ●ユニバーサルデザインの観点を生かした掲示物や教材の開発を一層推進する。	・汎用性のある事例を集積し、よりよい対応を全職員ができるようにする。	B	・SSWやSCを今後とも積極的に活用して行ってほしい。 ・担任の負担が増大しすぎないようなチーム体制の充実をこれからも工夫していただきたいと願う。
			<通信制> ○個々の生徒の状況に応じた支援体制（1次・2次・3次支援）の実施。 ●個別の支援計画の効果的な実施。	・ユニバーサルデザインについての理解を深め、活用の充実を図る。		
6 魅力・活力あふれ開かれた学校づくり	① 魅力ある生涯学習講座の検討 ② ガイダンス機能を果たす情報発信 ③ 外部諸機関との連携	B	<定時制> ○生涯学習を実施し、参加者からは高い評価をいただいた。 ●生徒の参加を促すことで、地域の方々と交流する機会を増やしたい。	・今年度よりスクール・ソーシャル・ワーカーが赴任し外部機関との連携がスムーズになった。次年度も一層良い連携をはかる。	B	・内外の人材を充分に活用して、魅力的な学校にしてほしい。 ・霞城祭・通教祭の一般公開はじめ学外との連携など社会と接する機会が増えているようで何よりです。
			<通信制> ○コロナ禍の影響で中止していた生涯学習講座は、後期から2講座を開講することができた。 ●必要に応じて外部専門機関との情報共有と連携。	・外部に向けて、効果的な情報発信ができるようなHPの内容・活用について検討。		